

# 『サッカーのまち』さいたま100年の歩み

さいたま市は日本屈指の「サッカーのまち」である。Jリーグクラブのホームタウンとして知られるようになって25年。だが、それ以前から、地元チームによる全国制覇の実績も数多く、常に日本のサッカーシーンをリードしてきた。これまで培ってきた『サッカー文化』を振り返る。

FIFA（国際サッカー連盟）が発足した4年後の1908年、埼玉県師範学校（現 埼玉大学）に教師として赴任した細木志朗先生が、生徒たちにサッカーを教えたのが「サッカーのまち」の始まりだった。細木先生の教え子たちが、地域の学校の教師となって子供たちにサッカーを教えるようになると、サッカーは当時の浦和に急速に広まり、「サッカーのまち」が形づくられた。当時の埼玉県師範学校は、現在のさいたま市役所が建つ場所にあったことから、市役所の敷地内には「埼玉サッカー発祥の地」と題されたブロンズ像が設置されている。また、浦和レッズのエンブレムには、埼玉県師範学校の校舎「鳳翔閣」がこの地のサッカーの始まりのシンボルとして描かれている。

1960年代「日本サッカーの御三家」といえば、広島（広島市）、静岡（藤枝市）、そして埼玉（浦和市）だった。当時の全国高校選手権大会の優勝校が、この3都市に独占されていたからだ。中でも浦和市は1937年の埼玉県師範学校の全国優勝に始まり、1952年には浦和高校が初制覇（通算3回優勝）、1957年には浦和西高校（通算1回優勝）が続き、1960年には浦和市立高校（現 さいたま市立浦和高校）が初優勝（通算4回優勝）、1970年には新興だった浦和市立南高校（現 さいたま市立浦和南高校）が初優勝（通算3回優勝）を飾ってい

る。この高校選手権で一都市が5校もの優勝校を出しているのは浦和と広島だけである。

高校選手権でのさいたま勢の優勝は、1977年の浦和南を最後に20年以上も遠ざかっていた。「御三家」の伝説は過去のものとなり、「日本一のサッカーのまち」の誇りも消えかけていたところ、そこに登場したのが浦和レッズだった。

1993年のJリーグ開幕に合わせ、浦和市をホームタウンとする浦和レッドダイヤモンズが誕生した。当初、成績は振るわなかったものの、サッカーの文化が根付いている土地柄と、地域の一員になろうと誠心誠意の活動をした浦和レッズとの間に絆が結ばれ、浦和は「サッカーのまち」としての誇りを取り戻した。

一方、1999年にJFLで活動してきたNTT関東が大宮市をホームタウンに、大宮アルディージャとしてJ2参戦を果たした。2001年5月には浦和市・大宮市・与野市が合併し、さいたま市が誕生した。2つのJリーグチームを擁するホームタウンとして、「サッカーのまち さいたま」に生まれ変わったのである。

2001年10月、翌年に開催を控えた日韓共催の2002 FIFAワールドカップ™会場として、さいたま市内に「埼玉スタジアム2002」が完成した。この収容

人員 63,700人を誇るアジア最大規模のサッカー専用スタジアムは、日本の初戦となるベルギー戦の会場として使用され、日本サッカーの歴史に残るFIFAワールドカップ™での初勝ち点を記録した舞台となった。また、同会場は準決勝のブラジル対トルコ戦などにも使用され、世界のサッカーの最高峰であるFIFAワールドカップ™の足跡が「サッカーのまち」に刻まれた。

2004年11月20日は、さいたま市のサッカー史において歴史的な日として語り継がれていこう。この日、浦和レッズは、駒場スタジアム（現 浦和駒場スタジアム）で名古屋グランパスと対戦し1-2で敗れたものの、他会場の試合結果により、初のステージ優勝を決めた。一方、大宮アルディージャも、大宮公園サッカー場（現 NACK5 スタジアム大宮）に水戸ホーリーホックを迎え3-1で勝利し、悲願のJ1昇格をこの日に勝ち取ったのである。また、これに先んじて、10月にLリーグ（現 なでしこリーグ）をさいたまレINAS FC（現 浦和レッズレディース）が制覇しており、3クラブがもたらした歓喜は「サッカーのまち」の復活を高らかに告げていた。

翌2005年には、浦和レッズと大宮アルディージャによる、日本初の、同一市をホームタウンとするJ1クラブチーム同士の対戦が行われた。この対戦は「さいたまダービー」と呼ばれ、さいたま市内を熱く盛り上げるとともに国内サッカーファンにも注目されるイベントとして定着した。

翌年に埼玉サッカーの発祥から100年目を迎える2007年、浦和レッズはAFCチャンピオンズリーグ初出場にして初優勝を果たし、アジアチャンピオンとして臨んだクラブワールドカップでは、準決勝でイタリアの古豪ACミランに惜敗したものの、世界第3位に輝くという快挙を達成した。

埼玉県師範学校の細木先生によって、この地にサッカーの種が蒔かれてから、ちょうど100年となる節目

の2008年には、FC浦和が全日本少年大会、浦和レッズジュニアユースレディースが全日本女子ユース（U-15）選手権大会、浦和レッズユースが高円宮杯全日本ユース（U-18）選手権大会を制するなど、さいたま勢が全国規模の大会で優勝し、記念の年に華を添えた。

浦和レッズジュニアユースレディースはこの年から、全日本女子ユース（U-15）選手権大会を5連覇し、女子のカテゴリーにおいても「サッカーのまち さいたま」の名を全国に轟かせた。

また、浦和レッズレディースは2009年になでしこリーグを初制覇すると、2014年にもなでしこリーグエキサイティングシリーズを制覇する。女子サッカーの普及と強化はもとより、ホームスタジアムである浦和駒場スタジアムを中心に女子サッカーの聖地化を目指すさいたま市にとって、浦和レッズレディースが果たす役割は計り知れない。

2017年11月、浦和レッズは10年ぶりにAFCチャンピオンズリーグを制覇し、Jクラブでは初となる2度目の優勝という快挙を成し遂げた。劇的な決勝戦が繰り広げられた埼玉スタジアム2002は歓喜の渦に包まれ、さいたま市のサッカーの歴史に新たな記録が刻まれた。

先駆者たちが築いてきたサッカーの歴史と伝統は、『サッカー文化』となってこの地に根付き、世代を超えて引き継がれてきた。100年の時を経て、誰もが、それぞれの立場でサッカーをプレーし、観戦し、応援できる本物の「サッカーのまち」がここにある。

1908年 (M41)	7月	細木志朗氏が埼玉県師範学校に着任し、蹴球部を創設
1937年 (S12)	8月	埼玉県師範学校が第19回全国中等学校蹴球選手権大会で優勝
1949年 (S24)	11月	県立浦和高校が東京国体で優勝
1951年 (S26)	10月	県立浦和高校が広島国体で優勝
1952年 (S27)	1月	県立浦和高校が第30回全国高校選手権大会で優勝
1955年 (S30)	1月	県立浦和高校が第33回全国高校選手権大会で優勝
1956年 (S31)	1月	県立浦和高校が第34回全国高校選手権大会で優勝
1957年 (S32)	1月	浦和西高校が第35回全国高校選手権大会で優勝
1959年 (S34)	10月	浦和市立高校（現市立浦和高校）が東京国体で優勝
1960年 (S35)	1月	浦和市立高校が第38回全国高校選手権大会で優勝
1961年 (S36)	1月	浦和市立高校が第39回全国高校選手権大会で優勝
1962年 (S37)	10月	浦和市立高校が岡山国体で優勝
1963年 (S38)	11月	浦和市立高校、浦和クラブが山口国体でそれぞれ優勝
1964年 (S39)	6月	浦和クラブが新潟国体で優勝
1965年 (S40)	1月	浦和市立高校が第43回全国高校選手権大会で優勝
	10月	浦和西高校が岐阜国体で優勝
1966年 (S41)	11月	浦和クラブが第2回全国社会人大会で優勝
1967年 (S42)	8月	浦和市立高校が昭和42年度全国高校総体で優勝
	10月	浦和市立南高校（現市立浦和南高校）が埼玉国体で優勝
1969年 (S44)	8月	浦和市立南高校が昭和44年度全国高校総体で優勝
	10月	浦和市立南高校が長崎国体で優勝
	11月	浦和クラブが第5回全国社会人大会で優勝
1970年 (S45)	1月	浦和市立南高校が第48回全国高校選手権大会で優勝
1972年 (S47)	8月	浦和市立大原中学校が第3回全国中学校選手権大会で優勝
1973年 (S48)	1月	浦和市立高校が第51回全国高校選手権大会で優勝
1975年 (S50)	8月	浦和市立本太中学校が第6回全国中学校選手権大会で優勝

1976年 (S51)	1月	浦和市立南高校が第54回全国高校選手権大会で優勝
1977年 (S52)	1月	浦和市立南高校が第55回全国高校選手権大会で優勝
	8月	与野下落合サッカー少年団が第1回全日本少年大会で優勝
	8月	浦和市立本太中学校が第8回全国中学校選手権大会で優勝
1981年 (S56)	8月	浦和市立常盤中学校が第12回全国中学校選手権大会で優勝
	11月	電電関東（現大宮アルディージャ）が第17回全国社会人大会で優勝
1985年 (S60)	8月	FC浦和が第9回全日本少年大会で優勝
1986年 (S61)	2月	電電関東が第10回地域リーグ決勝大会で優勝
1988年 (S63)	8月	浦和市立大原中学校が第19回全国中学校選手権大会で優勝
1989年 (H元)	8月	FC浦和が第13回全日本少年大会で優勝
1993年 (H5)	5月	Jリーグが開幕。浦和レッズが参戦
1995年 (H7)	12月	浦和スポーツクラブが第7回全日本ジュニアユース選手権大会で優勝
1997年 (H9)	7月	浦和レッズユースが第21回日本クラブユース選手権（U-18）大会で優勝
1999年 (H11)	3月	大宮アルディージャがJリーグに参戦
	7月	浦和レイナス（現浦和レッズレディース）がLリーグ（現なでしこリーグ）に参戦
	8月	浦和市立三室中学校が第30回全国中学校選手権大会で優勝
2001年 (H13)	8月	浦和レッズジュニアユースが第16回日本クラブユース選手権（U-15）で優勝
2001年 (H13)	8月	浦和レッズジュニアユースが第16回日本クラブユース選手権（U-15）大会で優勝
2002年 (H14)	8月	FC浦和が第26回全日本少年大会で優勝
2003年 (H15)	11月	浦和レッズがJリーグヤマザキナビスコカップで優勝
2004年 (H16)	10月	さいたまレINAS FC（現浦和レッズレディース）がLリーグで優勝

	11月	浦和レッズがJリーグセカンドステージで優勝
	11月	大宮アルディージャがJ1昇格
2005年 (H17)	8月	浦和レッズジュニアユースが第20回日本クラブユース選手権（U-15）大会で優勝
	12月	浦和レッズジュニアユースが高円宮杯第17回全日本ユース選手権（U-15）大会で優勝
2006年 (H18)	1月	浦和レッズが第85回天皇杯で優勝
	12月	浦和レッズがリーグ優勝
2007年 (H19)	1月	浦和レッズが第86回天皇杯で優勝
	11月	浦和レッズがAFCチャンピオンズリーグで優勝
	12月	浦和レッズがFIFAクラブワールドカップジャパンで第3位
2008年 (H20)	7月	埼玉サッカー100周年
	8月	FC浦和が第32回全日本少年大会で優勝
	8月	浦和レッズジュニアユースが第13回全日本女子ユース選手権（U-15）大会で優勝
	10月	浦和レッズユースが高円宮杯第19回全日本ユース選手権（U-18）大会で優勝
2009年 (H21)	8月	浦和レッズジュニアユースレディースが第14回全日本女子ユース選手権（U-15）大会で優勝
	10月	浦和レッズレディースがなでしこリーグで優勝
2010年 (H22)	1月	浦和レッズジュニアユースレディースが第13回全日本女子ユース選手権（U-18）大会で優勝
	8月	浦和レッズジュニアユースレディースが第15回全日本女子ユース選手権U-15）大会で優勝
2011年 (H23)	8月	浦和レッズジュニアユースレディースが第16回全日本女子ユース選手権（U-15）大会で優勝
2012年 (H24)	8月	浦和レッズジュニアユースレディースが第17回全日本女子ユース選手権（U-15）大会で優勝

2013年 (H25)	5月	大宮アルディージャジュニアユースがJFAプレミアカップで優勝
	12月	浦和レッズジュニアユースが高円宮杯第25回全日本ユース選手権（U-15）大会で優勝
2014年 (H26)	11月	浦和レッズレディースがなでしこリーグエキサイティングシリーズで優勝
2015年 (H27)	6月	浦和レッズがJリーグファーストステージで優勝
	11月	浦和レッズユースがJユースカップ第23回Jリーグユース選手権大会で優勝
2016年 (H28)	5月	大宮アルディージャジュニアがJFA全農杯チビリンピック小学生8人制サッカー大会で優勝
	10月	浦和レッズがJリーグYBCルヴァンカップで優勝
	11月	浦和レッズがJリーグセカンドステージで優勝
2017年 (H29)	7月	浦和レッズジュニアユースが第22回全日本女子ユース選手権（U-15）大会で優勝
	11月	浦和レッズがAFCチャンピオンズリーグで優勝